条件

主体

活動

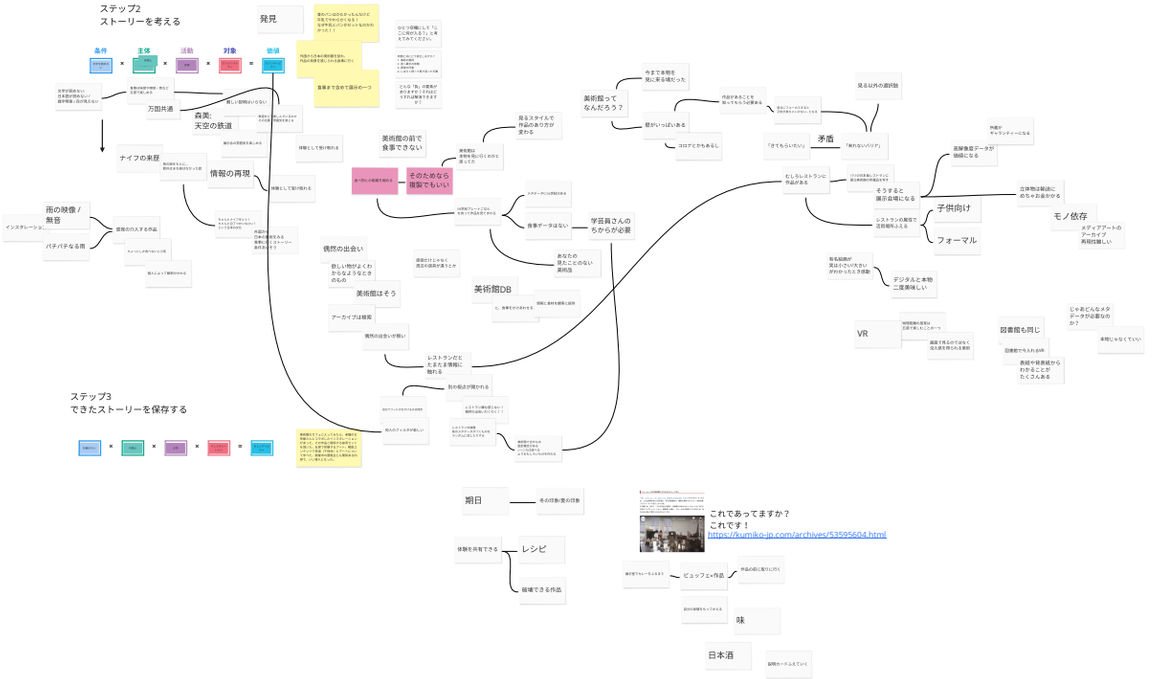
美術館の新たなサービスを発想しよう！

気付きノート

- 美術館に実際に来ている人たちの前に、様々な「潜在的コーサー」がいる可能性に気づきました。（石橋）
- 食事、美術館というワードで「リアルタイムでの経験晩」しか考えていなかったけど、世界に大変化がおきるけど、どんなものも現実になりうるんだなと。（いとう）
- 食事・レストランなどのような美術館周辺施設も情報
- 感情も情報だよね！！
- 作品情報を五感に変換するの革命
- 視覚情報以外にも伝達する手段がある
- 駅弁で駅を感じる…とか、五感は別の情報に結びつつけたり、引っ張り出すことができるよね
- 「美術館の展示」といえば作品を主としすぎて周辺がそんなに工夫されていない
- 美術界で当たり前に使われている話題以外の話題提供ができる（山川）
- 必ずしも「作品を見ることが一番の目的！」ってことじゃなくて、思考をするために出会う場面でも良いし、みたいなことでもある。意思が一番の目的に寄り込み過ぎてたりも。
- 作品そのものがなくても展示は成立する
- 食事は大橋さんの言っていた触覚的な情報なのでは
- 自分で検索している感じ（自分のフィルターがかかっている）ことが、偶然性を喪失している…という指摘
- 建築関係に、レストラン・水族館など場所によって美術作品のフィルターを変わりそう。（ホワイトボックスからの脱出？）
- 作品をアーカイブ化・データ化することで、難しもがキュレーターになれるのだなぁ。
- 美術館に行くとお腹すくけど、結構値格が高い。
- 美術館の新しい取り組みに対しての情報を気軽に得られるツールがあると良いな
- レストランとか、居酒屋とかにてごい美術作品（本物）があることも。
- レストランとの内装にもっと美術作品が使われていくといいよね。
- 美術館が少し敷居が高いと思っている人も結構いるので

ステップ1
カードを選ぶ

ステップ2
ストーリーを考える

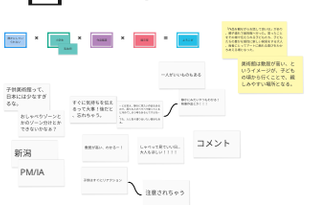


ステップ3
できたストーリーを保存する

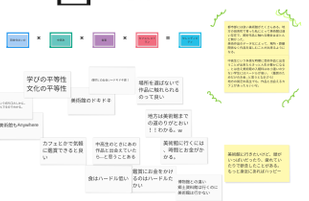
これであってますか？
これです！
https://kumiko-jp.com/archives/53595604.html

＼ 最強案 ／

MichikoSugaiさん



oitoさん


平びの平等性
文化の平等性
美術館のドキドキ
場所を選ばないで作品に触れられるって良い
地方は美術館までの道のりがとおい！！だから。w
美術館とAnywhere
カフェとかで気軽に鑑賞できると良い
中高生のときにあの作品と出会えていたらと思うことある
美術館に行くには、時間とお金がかかる。
美術館にはハードル低い
作品はハードル低い
鑑賞にお金をかけるのはハードルたかい
美術館の改革に関しては、ぜひ!!!